

高能率支保工盛替え工法 - スイング式土留め工法 - 『特許取得済』



1. はじめに

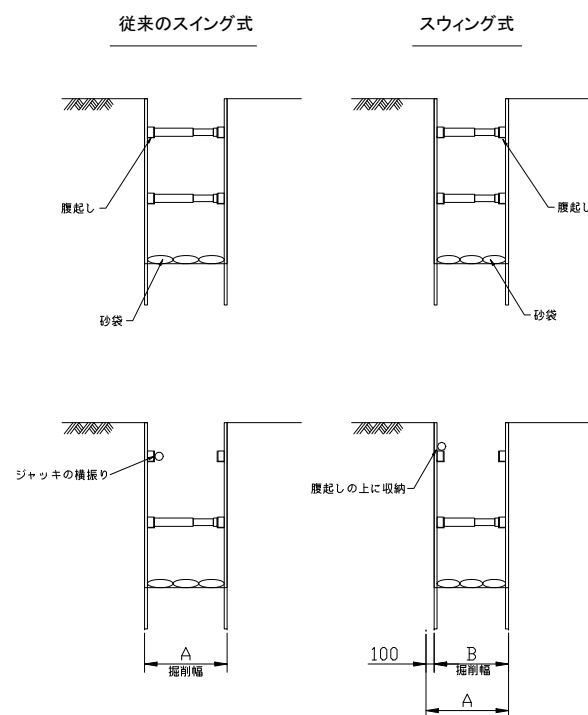
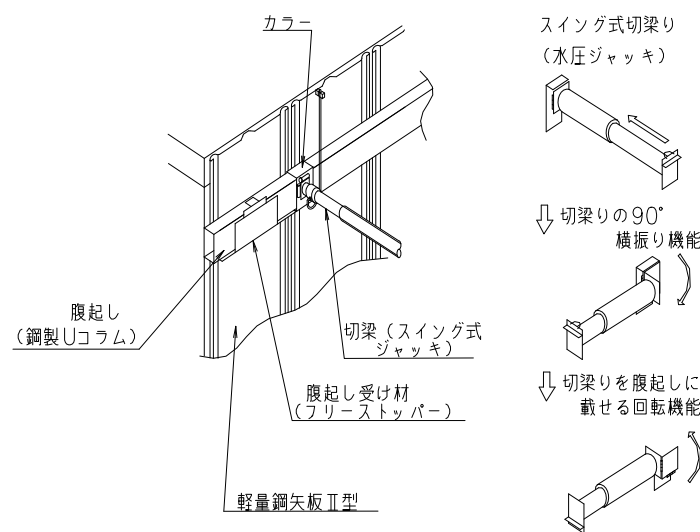
管の吊り降ろし時の切梁盛替え作業は、切梁の取外し等による作業性の悪さや、掘削溝内作業による安全面でも問題があります。そこで、スイング式土留め工法を適用することで、以上の問題を解消することができます。

2. 工法の概要

(1) 工法の説明

スイング式土留め工法とは、地上操作可能な二段階式スイングジャッキ、及び軽量鋼矢板に取り付けでき腹起しのセッティングが容易なフリーストッパーの採用により、切梁盛替え作業のスピードアップと安全面の両立できます。

(2) 装置の概要

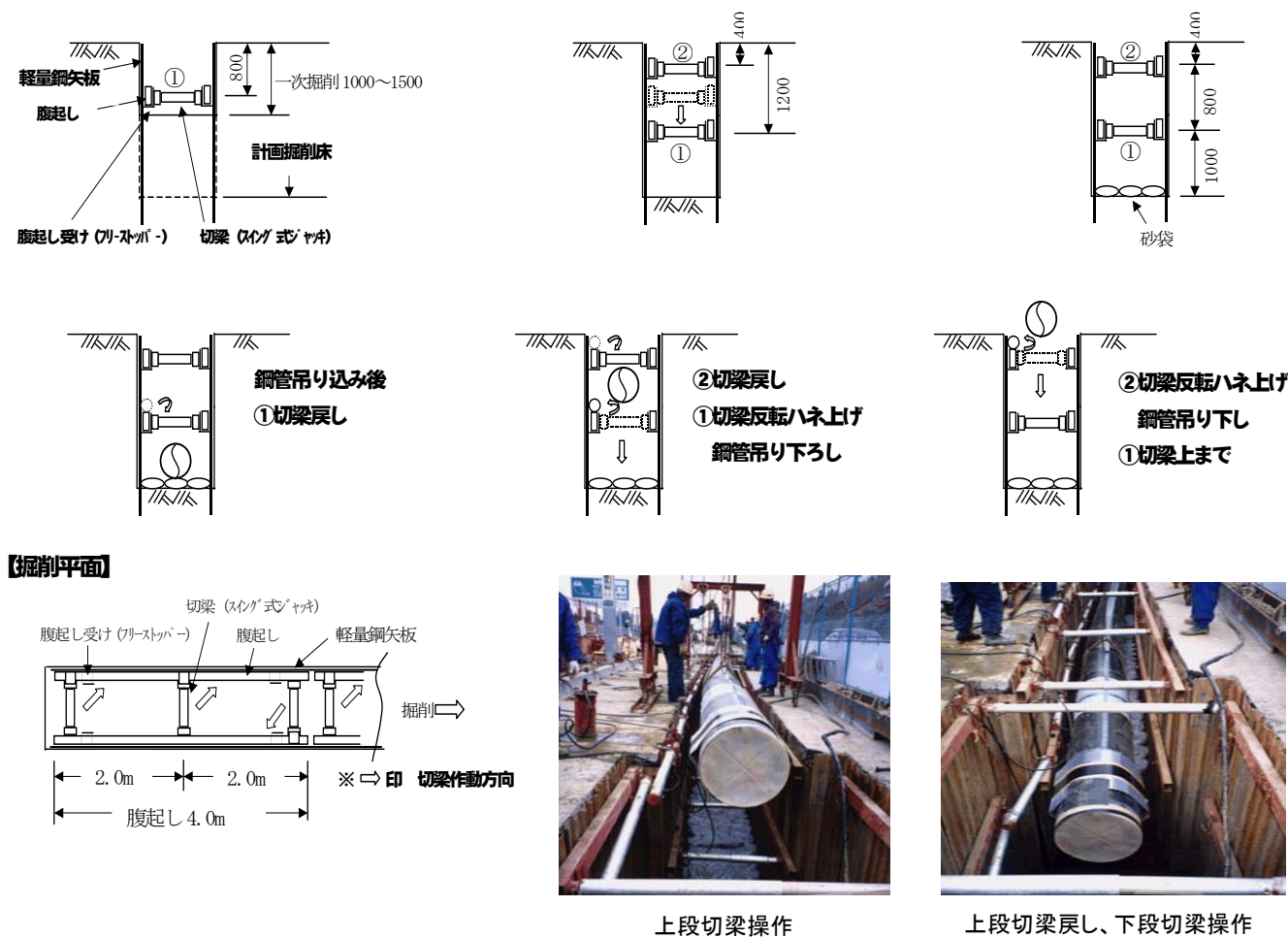


※フリーストッパーは、矢板のセクションを利用し取付けます。
又、取付けは任意の位置に取付けできます。
※水圧ジャッキはスプリング内蔵式で、水圧を抜けば自身で収縮します。

3. 工法の特徴

- ・ 腹起しを任意の位置に設置できます。
- ・ 水圧ジャッキを外すことなく、二段階機能により腹起しの上に収納できます。
- ・ 水圧ジャッキの伸縮とスイング操作を地上で行えます。
- ・ 水圧ジャッキを一度取付ければ、取外すことなく盛替え作業ができます。

4. 作業フロー



5. コストメリット

	実績	効果
時間短縮	鋼管吊り降ろしで短縮	作業効率向上
掘削幅縮小	規定幅に対し縮小	掘削残土量削減
安全性	飛躍的に向上	溝内作業の排除

6. 施工実績

お問い合わせ下さい。